グアム日本人学校から

●全日制：全校遠足・ブルースカイ歓迎式

5月3日(金)は、全校遠足・ブルースカイ歓迎式がありました。

テーマは「グアムの自然の中で、みんなで楽しもう」。

グアム日本人学校には、「ブルースカイ委員会」という学校全体に関わる様々な事柄を担当する児童生徒による組織があります。代表となって活動するのは、合計１４名です。このブルースカイ委員会が、低学年にもわかりやすくて覚えやすい、目的に適ったテーマを考えよう、ということで、上記のものが生まれました。

当日はまず、フムヨンマングロ山に登りました。縦割り（違う学年との活動）班である、「ブルースカイ班」の中でペアを作り、協力しながら登ります。

上の学年の子が下の学年の子を気遣う姿が多く見られ、とても良い関わり合いができたと思います。

山頂ではグループごとにおやつを食べたり、学年で写真を撮ったりしました。

下山をした後、バスでイパオ公園に移動してお弁当を食べました。

その後、ブルースカイ委員会が企画・運営・進行をする、「ブルースカイ歓迎会」を行いました。

4月からの転入児童生徒・新入学生・教員が自己紹介をし、ブルースカイ委員会が準備したゲームで遊びました。

この「ブルースカイ歓迎式」のために、ブルースカイ委員会のメンバーは約２週間前から準備してきました。遊びは、「おにごっこ」「フラフープ送り」「ジェスチャーゲーム」の3つのゲームでした。中3から小1までの5､60人が、一緒になって遊ぶ姿が見られるのは、世界でも数少ないだろうと思います。どのゲームも小さい子もいっしょに遊べるよう考えられ、工夫した準備がされていました。おかげで全校児童生徒が一体となって、きずなを深めることができたと思います。

テーマである「グアムの自然の中で、みんなで楽しもう」が見事達成できた、素晴らしい一日となりました。

●補習校　地震の避難訓練

グアムは、1993 年に M8.2 という大きな地震に見舞われています。幸い死者はゼロでしたが、高層の建物は被害がひどく、オープンしたばかりなのに倒壊したホテルもあったそうです。

最近は、中程度の地震がよく発生しているようです。調べてみると 3 月末から 5 月上旬までの 6 週間に、グアム、北マリアナ諸島付近を震源とする M4.5 以上の地震が 6 回起きています。平均週 1 回のペースです。今回の避難訓練の前後にも、グアム近海を震源とする M4.5 の地震が 2 回ありました。いずれも早朝で、気づいた人は少なかったかも知れません。

地震は、連鎖的に起きることが多いため、日本やフィリピンなど、近くで起きた地震にも、注意を向ける必要があります。

補習校では、新学期まもない 4 月 20 日（土）に、地震の避難訓練を行ないました。訓練では、授業中に地震が起きたことを想定して、

①まず机の下に隠れる（頭をまもろう）
②ゆれがおさまるまで様子を見る
③おさまったところで安全な場所に逃げる

と、3 段階に分けて行動をとりました。子どもたちの避難状況は、集合までに 1 分少々。大変早く、安全に避難することができました。最後に、総領事館の近藤領事が、

・ドアを開けて避難路を確保する。
・頭部を守る
・合言葉「お・は・し・も・ち」（押さない・走らない・しゃべらない・もどらない・近づかない）

などのポイントをお話してくださいました。

地震では、けが人が出たり、校舎が崩れる、道路が危険になる、電気や水が止まったり・・・などの非常事態も考えられます。場合によっては子どもたちと学校に長く待機する場合も想定されます。万全の備えはなかなか難しそうです。

現在補習校では、懸案の「危機管理マニュアル」作りをすすめています。

このページに関するお問い合わせは日本人学校､補習授業校事務局734-8024/25までお気軽にお電話ください。詳細はホームページもぜひご覧ください。http://japaneseschoolguam.com/